



No.70
2025.10.11
発行；特定非営利活動法人
所沢市学童クラブの会
広報委員会
所沢市くすのき台2-20-6
Tel：04-2994-6753

「ねえ、きいて」～子どもの声～ 夏休み編



三ヶ島学童クラブ

空いっぱいにはひろがる、うろこ雲をみて、一年生女の子「あつ雲の道みたい」「あつち雲のベッドみたい！」夏の雲に、子どもたちの想像力は無限に広がります。

夏休み二日目の夕方二年生男の子が「夏休みがもう三十九日しかない・・・」とつぶやきました。

私（指導員）は「まだ三十九日もある・・・」と思っていたので、なんだか申し訳なくりました。

つぶやいた子は毎日水遊びを満喫しました。子どもたちの夏休み一日一日を大切にしています。

宮前学童クラブ

三年生のHくんが「おはよう」と玄関から入ってきた時、待っていましたとばかりに同年齢の子たちが「やっと来た！」と言って出迎えに集まりました。それを見て三年生のTくんがニコニコと「チヤホヤされちゃって♡」と言言。言いたかったのは「人気者だね」ということなのです。が、その言葉のチョイスが面白い。気持ち伝わったよ！



中央学童クラブ

四年生の男の子が、ニヤニヤしながら指導員のところに来て、何を言ったかと思ったら、「えがおがね すてきなひとは しどういん」と、突然素敵な俳句を披露してくれました。夏休みの疲れを吹っ飛ばしてくれような言葉にみんな笑顔になりました。

若狭学童クラブ

野球大好きな男の子たち「雲が来ないかなあ？」空に雲がかかると日陰部分が広がり、広々と遊べます。子どもたちは、空を見ながら「雲来ないかなあ」とポツリ。「やったー！雲きたあ！」



仲栄学童クラブ

「ホールで遊びたい人集まってー！」暑さで外に出られない中、ホールの遊び方を決めるための話し合いが始まりました。それまでは、早いもの勝ちになっていたのが話し合いをして決めるための声掛けです。

林学童クラブ

トンボが飛び回る盛夏の校庭で水を入れたカップを持って佇んでいる四年生の女の子。どこか不思議な光景に「何してるの？」と声を掛ける子がちらほら。「トンボって水のあるところに卵を産むから」と、知る人ぞ知る習性を踏まえてトンボの捕獲を試みていたようです。

並木学童クラブ

「夏休みこんにちは！パーティーってないの？」夏休みに入っすぐ、二年生の二人が「夏休みさよならパーティーはあるのに、こんにちは！パーティーってないの？」と質問が。指導員は思ってもみなかった質問にビックリ!!

そこで、今年は「夏休みこんにちは！おやつ」をやることにしました。トッピング屋さんには質問者の二年生二人にお願いしました。「夏休みこんにちは！おやつ」いいね！と好評でした。

若松学童クラブ

「スイカの種植えていい？」
三年生の男の子が家で食べたスイカの種がたくさん入った袋を指導員の前に持って来て「スイカの種植えていい？」。「いいよ」と返事をする、早速三人でどこに植えるか場所探しを始めました。



の良さを
だなど
感じま
した。

和田学童クラブ

一年生の女の子がシール帳を手に入れた。『昨日「にしつま屋」で買ったの！』カン高い声でウキウキです！「西松屋？」「そう、『にしつま屋』」お茶目なのでダメ出しはしません♡
夏休みは女の子の間でシール帳が大人気でした。

コロニャンクラブ

「俺たち有名になろうぜ！」
この夏、韓国の安養市（所沢の姉妹都市）で行われる美術展用に絵を出展。作品がYouTubeで配信されることを知り大盛り上がりの子どもたちでした。

いろえんぴつ

昼食タイム、兄弟の話で盛り上がりだ。一年生の男の子、ふと、友達のお弁当に自分と同じおかずが入っているのを発見。「ほくたちは、ミートボール兄弟だね！」なんともかわいいひとことでした！

松井学童クラブ

映画鑑賞会の日「ポップコーン」を出しました。お迎えの時に、残ったポップコーンの持ち帰りかと思いきや袋の中に数粒の爆ぜなかった豆が入っていました。
「持って帰って庭に種をまき！」という一年生女子のつぶやきでした。

安松学童クラブ

一年生の女の子が「まだまだ夏休みあるからとっとく」と少しだけ進めて早めに宿題を切り上げるのがおもしろいなと思いました。

牛沼学童クラブ

樹液がある木を校庭で見つけ、「夜来ちゃダメなの？」どうしても捕まえたいのに…。



次の日も同じ木を見つめ続けてつかまえた、執念のクワガタです。

椿峰学童クラブ

「だいじょうぶ、こわくないよ」
雷が怖くて大泣きする一年生の子を、五年生の子が抱きかかえ、やさしく頭をなでながらの一言：お姉さんの膝の上で安心したのか、そのまま甘えていました。

ひだまりみなみ

車がゴーカートに変身するよ！「うさぎチョン」
男の子のゴキブリカーに続き、女の子もダンボールで作った。ライト・回るハンドル・ドリンクホルダーと荷物置き場も完備！カードキーを入れたら出発だあ〜！

緑町三丁目学童保育所

「ベーゴマがこんなにたのしいっておもわなかった」
今年の夏休みは、ベーゴマに始まり、ベーゴマで終わりました。八月末のよつば夏祭りベーゴマ大会でしめくくりました。



山口学童クラブ

「今日のおやつ豪華じゃない！」
指導員「夏休み最後の日だからお疲れさまでございね」
「えっ。疲れてないよ。楽しかったよ」
と返ってきた。



上新井学童クラブ

畑で育てているミニトマトがたくさん成り、「もうトマト穫ってもいい？」と、毎日のように尋ねる4年生女子。
「あと少しね」と伝えると「だったら水やりだけでもいいよ！」と、早く食べたい気持ちでいっぱいでした。

第二上新井学童クラブ

おやつ準備中、「私、かき氷食べたことないの」と一言。おやつで食べるかき氷が人生で初めてとなり、恐る恐る好きなシロップを自分でかけます。



保護者からの声

学童ってどんなところ？

学童に入所して半年。保護者から見て、学童はどんなところなのか、声を寄せていただきました。

宮前学童クラブ 一年生保護者

子どもが小学校に入学し、働いていたこともあり、学童を利用することにしました。今まで通い慣れていた保育園から初めてだらけの学童へ通うことになり、不安と心配もありましたが、子どもは顔馴染みのお友達がいたこともあり、すぐに慣れその日あった出来事をいつも楽しそうに話してくれます。学童がお休みの日を残念がるほど子どもにとって楽しい大好きな場所になっていてとても嬉しいです。

集団生活の中でお友達や他の学年の子との関わりを通じて思いやりや人との接し方を少しずつ学んでいく姿を見て成長を感じています。家では見せない一面を先生方から聞くこともあり驚かされることもあります。先生方が温かく見守ってくださるおかげで子どもが安心して楽しく過ごせ、親としても安心して仕事に取り組むことができ、感謝しています。

新人職員紹介

皆川 明音

若松学童クラブ



①小学生の頃は、絵を描いたり漫画、虫取り、野球をしていたのでドッチボールやクラスみんなで逃走中をするのが好きでした。

②子どもたちが安心してできる心のつながりと、安全な環境を提供することに全力を尽くします。一人ひとりととって、心のよりどころとなる存在になれるように、頑張ります！

③特技、好きなこと

特技：ボール遊び、ラテアート

好きなこと：料理、映画・アニメ鑑賞、野球観戦、ゲームが好きです。

平成、昭和の曲が好きです

…色々沢山あります。

質問項目

①子どものころ好きだった遊び

②意気込み

③特技、好きなこと

三田 義行

学童クラブの会事務局



①自転車に乗って遠くへ行くこと。

②これからも学童の運営を継続的に行えるように、経営面でよくわかるようなバックアップが出来たら良いと考えております。

③特技：早食い？（若いころは、カレー・牛丼は、一分で食べれた）

趣味：バイクに乗って車載動画の撮影を行い、編集し、昭和の名曲を流しながら自分で楽しむこと。

学童クラブの会は、今年も「所沢市民フェスティバル」に参加します。

10/25(土)26(日)
所沢航空記念公園
「ダンボールめいろ」



ここでやっているよ！

「ベーゴマ教室&大会」

25日(土)12:30~15:00
26日(日)10:00~14:30
対象：小学生 入場無料

あそびにきてね！！



教室 25日(土)13:00~15:00
大会 26日(日)受付開始 12:15~
大会開始 13:00~
ベーゴマ大会は子どものみの参加



学童クラブの会 施設紹介

第二上新井

ひよっこクラブ

第二上新井ひよっこクラブは上新井小学校の隣にあり、七十一名（二支援）の子どもが在籍しています。庭はありますが、外遊びは校庭を使わせてもらっています。学校の反対側にある上新井すぎのこクラブの子どもたちとも一緒に遊びます。

おすすめスポットはテラスです。コロナ禍に少しでも子どもたちの居場所を作ろうと



思い、職員で手作りしました。その後もスペースを広げたり、日除けやベンチを作ったりと何度も改良を加えてきました。今では子どもたちにとって、あって当たり前の場所になりました。風が通る開放的な空



間で、宿題をしたり、秘密基地作りや、ベーゴマ削り、日向ぼっこなど、子どもたちに大人気！ときには二十人以上の子どもたちが過ごしています。

「自由おやつ」ではみんなで楽しくわいわい、学年ごとに集まって行う「学年別会議」などではカーテンで区切って集中し、「水遊び」など様々な行事では特別な場所として活躍しています。

編集後記

今年もあっという間に暑い夏休みが終わった印象です。いつも始まる前は正直、憂鬱と緊張の夏休みですが、実際スタートすると、子どもたちとじっくり過ごせる貴重な時間になります。一年生の子どもたちとも夏休みを通してだいぶ距離が縮まったように感じます。

今回の特集からも、どのクラブもそんな時間を過ごせたことが伝わってきます。私の勤務する学童の子どもから「朝から夜まで大変だねー」と労いの言葉をもらえた時は、子どもたちも私たち指導員のことをよく見てくれてるのだなと嬉しくなっていました。夏を通じて子どもたちの関係が深まってきて、秋から冬に向け、異年齢がいりまじる集団あそびにもつながっていきたいと考えています。

余談ですが、三ヶ島学童クラブに隣接する原っぱの栗の木は今年豊作でした。持ち帰ってお家の人に調理してもらう子もいました。三ヶ島学童ならではの体験です。

（北田）

がくどうマンガ



学童クラブの
会のHPはこちら
からご覧
下さい。

